2022年2月22日【1】

地区スローガン:「Love Other Spirit ~繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて~」

クラブ方針:「豊かな心を持とう! 今こそ「絆」」

国際ロータリー第2790地区 第3グループ

# **千葉西ロータリークラブ**

Rotary Club of Chiba-West

創 立 1976年1月20日 会 長 今野文明 承 認 1976年2月25日 幹事本橋和也

例会場 千葉スカイウインドウズ 東天紅 センシティタワー23階

TEL 043-238-5555 例会日 毎週火曜日 12:30~

事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階

TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522 E-mail: chibawestrc@wrpc.co.jp URL: https://www.chibawest-rc.net/

**IE TO** 

**GE LIV** 

-07

## ■ 例会延期のため臨時週報会長挨拶 / 今野文明 会長

皆様、改めまして、この厳しいコロナ禍の中、本年度のロータリー活動へのご理解、ご支援を頂 き誠にありがとうございます。

まん延防止等重点措置が3月6日まで延期されました。また今後の感染状況を、高い警戒感を持っ て注視していく必要があると考え、2 月全て及び 3 月 1 日の例会を取消及びプログラムの延期とさせ て頂きました。

本来ならば、2 月 24 日から 26 日まで、本年度のメイン事業と位置付けていました「姉妹クラブ 輪番制訪問事業」でしたが、コロナ第 5 波の時に中止を決定させて頂きました。その代替えとして 設定したのが本日の長坂圭将委員長率います「国際奉仕委員会」主催のクラブフォーラムでしたが、 今度はコロナ第6波で残念ながら例会取消となってしまいました。

本年度も中止になったこの「姉妹クラブ輪番制訪問事業」は、国際奉仕委員会と親睦活動委員会

の共同開催となる予定でした。国際奉仕委員会の三ヶ国のWCS事業、検見川小学校での三ヶ国書画交流事業、三ヶ国合同 例会、そして親睦活動委員会の三ヶ国親睦旅行と両委員会が中心になり、全メンバーが力を合わせ行う事業でした。この事 業は、2010年頃までは、毎年締結記念日前後に各国に訪問していましたが、参加する会員方には、費用と時間の負担がか かり、更には年々訪問する会員が減少して、訪問して頂けるのは毎回同じ会員となり、その方たちに負担をして頂いていま した。そこで、諸先輩方が築いてきた国際奉仕委員会の事業そのものを失くさないで、継続する方法を三ヶ国で話し合い 現在の輪番制という形に成りました。10 年前の川島治代年度から韓国釜山鎮 RC への訪問から、この「姉妹クラブ輪番制 訪問事業」がスタート致しました。一昨年度の野口アキ子年度が台湾高雄北区 RC へ訪問、昨年度の藤崎年度が韓国釜山 鎮RCへ訪問、そして本年度は当クラブの担当、迎え入れとなる予定でしたが三年連続で中止となってしまいました。

本日の国際奉仕委員会主催のクラブフォーラムで「姉妹クラブ輪番制訪問事業」を理解して頂く良い機会だと思っていま

個人的にも三年に一度の事業なので、積極的に参加をして、高雄北区 RC 及び釜山鎮 RC のメンバーと懇親を深めさせ て頂き、この事業を絶やさないようにしたいと考えています。

今後の例会は、まん延防止等重点措置が解除されるか、延期になるか、緊急事態宣言に移行されるのか、動向を見守り 判断させて頂き皆様に通知させて頂きます。

会員の皆様に於かれましては、くれぐれもご自愛して頂き、3 月には元気に例会でお会い出来ることを心より期待してい ます。

## ■ 国際奉仕委員会担当クラブフォーラム中止になり / 長坂圭将 委員長

本来であれば、2月22日は国際奉仕委員会担当のクラブフォーラムの予定でしたが、例会取消しになりま したので、一文を草したいと思います。

今回のフォーラムの内容は、会長幹事の意向もあり、また、委員会みんなで話し合った結果、一昨年に続き、 国際事業ができていない現状を顧み、特に新しく入会した方々向けに、国際奉仕委員会の事業を理解して 頂くことを目的とした(卓話に近い)フォーラムを開催する予定でした。 週報掲載の機会を頂きましたので、ここで概要を下記いたし、クラブフォーラムに代えさせて頂きます。

#### ■ アジアふれあい基金

アジアの恵まれない人々や自然災害のお見舞いのために日頃から積み立てを行い、必要な時に支援を行う。

□ 事業の歴史と実績

2001-02 年度 金谷ガバナー補佐(当クラブ PP)が、分区内合同クラブ幹事会において提案され、分区統一の「アジ アふれあい基金」がスタートしました。その後、各クラブで自主管理に変更され、他クラブは自然消滅しましたが、当クラ ブだけは、発起当初の目的を粛々と今日まで管理・実践しております。(名称もそのまま引き継いでいます)

□ 支援実績抜粋

□ 要旨

2005-06 年度 新潟中越地震に30万円の慰問金

2010-11 年度 台湾台風に 30 万円

2014-15 年度 伊豆大島台風 5 万円

2015-16 年度 ネパール地震 122,216 円

その他、地区からの要請の義援金も当基金より拠出しております。





# ■ 子弟交流事業(千葉西⇔高雄北区)

□ 要旨

高雄北区 RC(台湾)と千葉西 RC(日本)双方より会員児孫を相互に受入・派遣し、会員宅でのホームステー交流を通じて、他国の人々とその文化や習慣等を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進する。

また、当事業を通じて、高雄北区 RC 及び会員・会員家族との友和を図ることを目的とします。

□ 事業の歴史と実績

1994年8月(並木年度)に高雄北クラブの子弟4名の受入れを行い、以降、数多くの子弟交流を通して、ロータリーファミリーとのホームステー交流が継続されています。現在は子弟受入れ3名、送出し2名が慣習的になっております。

□ 子弟受入れ(8月)

台湾の夏休みに合わせて、高雄北区 RC の会員児孫の受入れ(3名)を行います。また、子弟の引率として、高雄北区 RC の国際奉仕委員長(及び会員家族)が来葉されますので、引率者のアテンドも行います。

□ 子弟送出し(3月)

春休みに合わせて、千葉西 RC の会員児孫送出し(2 名)を行います。また、引率として国際奉仕委員会より 1 名台湾に出張します。

#### ■ 三カ国書画交流事業(千葉西・高雄北区・釜川鎮)

□ 要旨

3ヶ国(日本・台湾・韓国)の小学校児童の書画を集め、相互に鑑賞する事により、児童に対して書画鑑賞を通じて文化的な違い・価値観を肌で感じて頂くとともに、国際的な理解と教養を高める事を目的とする。

また、3ヶ国間の書画交流を通じて、姉妹3クラブの友和を図ることを目的とする。

□ 事業の歴史と実績

- ·1979年(石原年度) 高雄北 RC の協力を得て日台児童の書画交換開始
- ・1981 年(島田年度)沼田知事夫妻をはじめ 19 名で高雄北 RC 訪問、書画交換 以降、姉妹クラブ締結日に合わせて 11 月に公式訪台、書画交換実施
- ・2008年(小林年度)より釜山鎮 RC が加わり、3ヶ国書画交流が開始
- ・今年度 42 回目の書画交換実施予定

## ■ 世界社会奉仕(WCS)事業

□ WCS(World Community Service) 活動とは

国や行政が地域社会のニーズを満たせない発展途上国や開発途上国で、ロータリークラブも資金の制約等で奉仕活動が実践できない場合に、援助を海外の地区やクラブに求め、協力して奉仕活動を行うのが世界社会奉仕活動です。

WCSの取り決め事項は

- ・2 カ国以上のロータリー国のロータリアンが関与すること
- ・参加国のうち 1 カ国はプロジェクト実施地であること
- ・WCS プロジェクト交換、クラブ対クラブの相互交流、災害援助などが含まれる
- □ 当クラブにおけるWCS活動

姉妹三クラブ輪番制訪問の際に、孤児院等の社会福祉施設を訪問・見学し、訪問先に寄付を行います。千葉西 RC からは 10 万円を寄付しております。(創立当初は、古切手を収集しボランティア団体に寄付した実績あり)

# ■ 姉妹三クラブ輪番制訪問事業

□ 要旨

姉妹三クラブが輪番にホストクラブの地域に集まり、合同例会並びに 3ヶ国共同による奉仕活動の実施を通じて国際間の理解と親善を図ることを目的とします。具体的に奉仕活動とは、青少年奉仕(書画交流)と社会奉仕(WCS)を三クラブ輪番制訪問の際に共同で実施しております。

- □ 事業の歴史と実績(抜粋)
  - ・1976年6月(大塚年度)高雄北RCチャーターナイトに出席、ロータリー鐘を寄贈
  - ・1976年11月10日高雄北RCとの姉妹クラブ締結
  - ・1977 年 4 月 (大塚年度) 高雄北 RC 来葉、1 泊ホームホスピタリティ歓迎例会開催
  - ・1977 年 11 月 (大須賀年度) 姉妹締結 1 周年 高雄北 RC 公式訪問 以降、11 月 高雄北 RC 親善訪問、4 月頃 高雄北 RC 来葉の相互交流が継続される。
  - ·1986年9月(新井年度)釜山鎮RCを親善訪問
  - ・1987年2月25日 (栗原年度) 釜山鎮 RC との姉妹クラブ締結

以降、年度を重ね、11 月高雄北区 RC 訪問、2 月釜山鎮 RC 訪問、4 月高雄北区 RC 来葉の相互訪問が定着化される。

・2011年 (川島治年度) 三ヶ国輪番制導入が合意される。

末筆ではありますが、永年に亘り築き上げてこられた姉妹クラブとの「絆」は、当クラブの宝であり、当クラブの存在意義のひとつと強く思います。今回のクラブフォーラムにより、「絆」が絶えない事を願います。



# ■「ロータリー誕生から 117 年目」 クラブ広報ロータリー情報委員会

ロータリークラブの創始者であるポール・ハリスは、1905 年 2 月 23 日に 3 人の仲間と一緒に初めての会合をシカゴの街で持ちました。以来様々な経緯と様々な国家のロータリアンが綿々と活動を引継ぎ117年の歴史が積み重ねられてきました。草創期に集まった 4 人の職業が別々であったことは意図があって、様々な事業主による公正取引を旨とした相互扶助を目的としました。併せて真の友人関係を構築する語り合いの場を構築させることがありました。後日談として伝えられていることですが、創始者であったポール・ハリスはロータリークラブを創った心境を吐露して、「心許せる真の仲間を欲していた切なる願いがあった」ことが念願としていたようです。漸く住み着いた発展途上の活気あるシカゴの街で、新たなる信頼し合う仲間を作り、胸襟を開いて一緒に語り合える親友の和を広げたいとの願望があったのです。ROTARY の呼称ですが、開催場所を会員の事業所を廻りまわることから、会員同士での相談から生まれたようです。シカゴクラブの初代会長は始祖のポール・ハリスでなく、例会開催三回目の会場主であった、シルベスタ・シールに決まったことは、ポール・ハリスが他を大切にする謙虚さが伝わってきます。シカゴクラブ創立当時から伝搬されていた、信頼を旨に相互扶助の仲間達の活動は一気に浸透し会員数も増大し、ロータリークラブは確実に全米に拡大し、やがて世界に広まっていきました。この「一業種一会員制」の基本はポール・ハリスのアイディアですが、ロータリーライフの中で幅広い、沢山の初対面の異業種仲間と知り合いになるという大きなメリットがあり、「一業種一会員制」は長年にわたって大切にされ、ロータリアンの基本理念とされ自負となっていました。

ロータリー活動の運営年度制ですが、当初は始期が2月で終期が1月でしたが、1922年7月に国際ロータリークラブ連合会が現在の「国際ロータリー = RI」に組織変更された時から、始期が7月になり終期が6月の現状に変更されました。併せて「国際ロータリー」の組織本体の公式表示は ROTARY INTERNATIONAL=RIとなりました。時々口にしてしまいがちな「国際ロータリークラブ」という呼称と表現は間違いですから注意が必要です。

初期の例会は会員の事業所に於いて順番で開催するようなプログラムの中で、同じ志をもつ信頼する仲間が協調し、励まし合うプログラムが浸透し各地に広まる恩恵をうけて、やがてロータリークラブが世界中に広まる要素になりました。「RI=国際ロータリー」は、各国で活躍するクラブの集合体として存在し、職業人としての職業倫理を重要視する実業人や専門職務者の集団となり、超我の奉仕の精神のもと、真のロータリアンとして立派に様々な奉仕活動を行いました。更には、地元社会や世界中に向けて多くの善意の奉仕や貢献を果たせることができるようになりました。

我が日本のロータリー発祥ですが、1920(大正9)年 10月に東京クラブが創立され、翌年の1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして認証状が伝達されました。初代会長には米山梅吉翁、幹事に福島喜惣次氏が就任しましたが、福島幹事は長い間アメリカのダラスで東洋綿花㈱の駐在社員として活躍していた関係から、地元のダラスクラブに誘われて入会した方で、日本人として第一号のロータリアンになられた方です。数年後の帰国に際して、国際ロータリーから日本にもロータリークラブの設立をするように要請がされて、福島氏は帰国後に親会社である三井物産㈱の幹部であった米山翁に相談をした結果、日本国内でもロータリー創立活動の萌芽ができクラブ設立の準備が始まりました。

因みに、東京クラブ初代幹事ですが、米山氏から要請を受けた福島氏が指名を受諾されましたが、福島氏は間もなく大阪 支店の転勤となり大阪クラブの創立にも尽力されました。日本国内でのロータリークラブの設立経緯ですが、大阪の財界人 が創立した大阪クラブと併せて、東京と大阪の両クラブが夫々親クラブとして拡大の活動が盛んになり、各地にクラブ拡大 が一気に広まっていきました。当初の地区は国内一地区制とした 60 地区が割り振られていました。当 2790 地区の第一号 クラブは千葉クラブですが、当然のこと親クラブは東京クラブであります。千葉クラブは 1951(昭和 26)年 5月18日に創立され、5月30日に国内59番目のクラブとして認証されました。それ以後千葉クラブを親クラブとした拡大が進み、我が千葉西クラブは新千葉クラブを親クラブとして、1976(昭和51)年2月25日に、地区内51番目クラブとして拡大認証されました。当地区は埼玉県との統一地区として340地区として共栄しつつ、1977年から単一県として独立した279地区となり1991年から現行の2790地区になった経緯があります。クラブ数最大86クラブ、最大会員数も4,300名超を擁していた時期もありました。

会員一人一人が純粋な気持ちになって、仲間と共になって「奉仕の理想」を心掛け、組織規定となっている国際ロータリー定款と細則、及び標準クラブ定款に書かれている信条をもって、クラブ活性を追い求めて活動してきました。3 年に一度規定審議会が開催され、組織規定の変遷がありましたが、会員がクラブに入会する規定も、会員資格もクラブの運営も、年々厳しさが緩和されてきています。ロータリーの組織規定は時代に合わせるように変遷してきましたが、不易流行と云われる根本的なロータリー精神は普遍であると思います。

改めてですが最新の「手続要覧」を紐解いてみますと、下記の通り分野が明記されています。

1・ロータリーの基本理念があり、社会奉仕に関する1923年の声明と社会奉仕に関する声明(1922年)、四つのテスト、ロータリーの目的、五大奉仕部門、青少年と接する際の行動規範に関する声明、国際ロータリーの標語、国際ロータリーの使命、ロータリー財団の使命が、それぞれ明記されています。

2・ロータリーの戦略計画として、ロータリーのビジョン声明があり、以下、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、参加者の積極的なかかわりを促す、適応力を高める、以上の四つの優先事項があります。

3・国際ロータリー定款。4・国際ロータリー細則。5・標準クラブ定款。6・推奨クラブ細則。7・国際ロータリーのロータリー財団。以上の組織規定等、我々の指針としての手引きが提示されています。

我々ロータリアンは時々でも、組織規定を読み直す必要もあり、内容をかみ砕いて解釈する必要があると心得たいものです。国際ロータリーから配信される最新の情報は日々沢山提示されていますが、ロータリーの web ホームページから得ることが最適でしょう。My ROTARY に登録して一層深く情報を得て、最新情報や動向を学ぶ楽しみもロータリアン冥利です。加えて地域雑誌であるロータリーの友誌から得る情報も貴重でありますし、各地区メンバーから配信される記事は刺激があり参考になります。当千葉西クラブもこうした広報活動に積極的に参加していくことも大切であり、会員の意識向上とクラブの活性に役立つと思います。クラブ広報ロータリー情報委員会としても、こうした情報を紹介したり、配信されている最新情報を素材にした会員同士のディスカッションの場を構築していくことも大事な役目であり大きな意義があるでしょう。最近国際ロータリーのwebホームページを覗いて感じることですが、年々グローバル化していて、活動スローガンも躍動的になっているように感じます。今後の委員会活動の中で改めてご紹介いたしますが、一人一人のロータリアンとしても、これから歩む道筋をしっかりと理解し納得する必要があります。クラブ内でも常に広報活動を徹底させ、

理解を深めたいものです。その結果として、一人一人の会員意識が向上し、五大奉仕の委員会活動が活性化できると信じます。ロータリー創立の記念日に際して思うことは、年々時代や世相に合わせたロータリーとして、更なる発展ができるように、我々ロータリアンが積極的に意識向上し、ロータリーを好きになって、更なる貢献ができるように努力していきたいものです。

2030 年に向けて、SRF ロータリー未来形成が構築されていきますが、我々が所属する千葉西クラブの存在意義と会員のスキルが重要になってきます。我々各会員は常に最新情報に接しクラブ組織を活性させ、真のロータリアンであるべき活動を心掛け実践していく責任と役割を果たす責任があります。その為にも、大いにロータリーを愉しみ合いましょう!!

今こそ温故知新を意識しましょう。連綿と引き継がれているロータリーの標語として、古くから以下の二つが表示されていますが、日常クラブのプログラムや運営の中で多面的に常用させる価値があると思います。

## ※「超我の奉仕」

※「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

そしてグローバルでインターネットの時代になった今、web ホームページに標語されている以下の文面を修得し、未来に向けて一人一人が適応力を高めていきたいものです。

## ※ロータリーの使命

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、 親善、平和を推進することです。

## ※ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

参考文章引用元(MY ROTARY・2790 地区史・ロータリーを理解しよう)



## ■ 国際ロータリーからの声明

ロータリーは、ロシアとウクライナ間の緊張関係および武装紛争の差し迫った可能性が高まっていることを強く懸念しています。世界がパンデミックからまだ抜け出せずにいる中で、ヨーロッパでの戦争は悲劇的な結果につながり、現地の市民だけでなく、人類全体にも壊滅的な影響をもたらすでしょう。

世界最大の人道団体の一つとして、ロータリーは「平和」を世界的な使命の礎石としてきました。戦争は、国家間や人びとの間の不和を解決するための適切な選択肢ではありません。私たちは、国際社会とともに緊張緩和を呼びかけ、対話を通じてこの対立を解決するための緊急かつ確固たる外交努力を強く支持します。

過去 10 年間、ウクライナ、ロシア、および近隣諸国のロータリークラブは、国の違いを超えて、親善を推進し、戦争や暴力の被害者への支援を先導する平和構築プロジェクトに積極的に取り組んできました。私たちはこれらの取り組みを継続し、断固たる決意をもって、この危機的な状況の平和的な解決に寄与するよう努めます。 国際ロータリー 15-Feb-2022

## ⇔ ==== BOX

・なし

千葉	総数	本	出	席	前	メーキャップ	本日の出席率	=	本日の合計	次	■ 次週プログラム
千葉西ロータ	48 4			0名	b	0名	の % 二 の 円 ファー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	週プロ	まん延防止等重点措置期間は例会取消 3月8日 (火)		
ľ	対象者	出欠	欠	席		欠 席			本年度累計	グ	ゲストスピーカー PDG 漆原摂子 様
クラブ	48 4	席		0名	Ē	0名	0 %	X	695,000 <sub>円</sub>	ラム	今改めて思う「クラブが主役になり奉仕活動の実践を!」 12:30点鐘 千葉スカイウインドウズ 東天紅
クラブ広報・ロータリー情報委員会 【委員長】桜井隆宏【副委員長】海寶勘一 *高橋健一郎【委員】嶋田 悠 *野城隆憲 *北村悠介 *中村武弘 *川﨑美嘉子											